

甲斐市文化遺産年報3

平成28年度・平成29年度

2021

甲斐市教育委員会

甲斐市文化遺産年報3

平成28年度・平成29年度

2021

甲斐市教育委員会

序 文

甲斐市のかつての景観は、農村風景がひろがるのどかな景観でしたが、戦後の高度成長期以降、平坦地を中心に宅地開発が頻繁に行われています。その結果、農村風景はほとんど失われ、新たな宅地景観を形成しています。

一見すると宅地しかないように見える街並みですが、歴史的資料は豊富にあります。茅ヶ岳南麓エリアは古代の国営牧場跡である「穂坂牧」の範囲に想定されています。この牧場からは毎年30匹ほどの馬が朝廷に献上され、牧の名前は歌枕にもなっています。荒川扇状地エリアは「金の尾遺跡」「松ノ尾遺跡」の集落遺跡に代表されるように、古くから開発が盛んな地域でした。金桜神社への参拝路である御嶽道が南北に走り、路傍の石造物が当時の人々の盛んな往来を物語っています。釜無川扇状地エリアは「信玄堤」と「竜王河原宿」が特に著名ですが、かつての釜無川の流路のなかに、鳥のように点在した古い集落が核となって、今の市街地を形成していることは、ほとんど知られていません。

近年、人口増加に伴い、宅地開発や大型店舗の建設など、多くの開発事業が行われております。平成28年度および同29年度は合計23件の試掘調査を行い、そのうち、4件で遺構や遺物の発見がありました。

こういった開発に伴って失われて行く埋蔵文化財や、地域の歴史を今に伝えるお祭りや踊り、古老の昔話や石碑などの有形・無形の文化遺産を、行政といたしましては調査・保存というかたちで保護していかなければなりません。先人から伝えられた文化遺産は、現在われわれが住む地域の核になっているのです。それが失われるということは、地域の風土や歴史、いかに言えばアイデンティティが未来永劫消失してしまうことにはなりません。

最後になりましたが、甲斐市の文化財保護・保存対策に際し、ご理解とご協力を賜りました関係各位に深く感謝いたします。

令和3年3月31日

甲斐市教育委員会

教育長 宮坂 雄次郎

例 言

1. 本書は山梨県甲斐市における平成28年度および平成29年度文化遺産保護・活用に関する概要を記した年報である。
2. 甲斐市における文化遺産の保護・活用に関する行政組織は次のとおりである。

| 平成28 (2016) 年度 | | | | 平成29 (2017) 年度 | | | |
|----------------|---------|-------|--|----------------|---------|-------|--|
| 甲斐市教育委員会 | 教 育 長 | 西山 豊 | | 甲斐市教育委員会 | 教 育 長 | 西山 豊 | |
| | 教 育 部 長 | 生山 勝 | | | 教 育 部 長 | 生山 勝 | |
| 生涯学習文化課 | 課 長 | 保坂 江里 | | 生涯学習文化課 | 課 長 | 土屋 達巳 | |
| 文化財係 | 係 長 | 大嵩 正之 | | 文化財係 | 係 長 | 大嵩 正之 | |
| | 主 任 | 長谷川哲也 | | | 主 任 | 長谷川哲也 | |
| | 臨 時 職 員 | 小林 美香 | | | 臨 時 職 員 | 奥野 夏美 | |

平成28年度・29年度 文化財調査作業員登録者（順不同）

高添美智子・望月 典子・青柳 正史・古屋 秀雄・堀 吉彦・羽中田 勲・森沢 篤美・横内 博
笠井 治・立花 重光・日向 充雄・手塚 松雄・齊藤 功記・秋山高之助・伊井 實・小林 求
深沢 友子・醍醐 三郎・田中ひとみ・菅沼 芳治・近山 辰男・瀬口 晴彦・宮澤明日香
新津 多恵・齊藤 律子・望月 厚子・梶原 初美・雨宮 信次・佐藤 真紀・飯沼 源治

3. 本書の執筆・編集は長谷川が行った。
4. 本書に掲載した史・資料、諸記録はすべて甲斐市教育委員会に保管してある。
5. 平成28年度および平成29年度中の文化遺産保護業務にあたり関係各位からご理解、ご協力を頂いた。ここに感謝申し上げる次第である。

目 次

| | |
|----------------------|----|
| 第1章 文化遺産の保護と活用 | 1 |
| 1 文化財保護審議会 | 1 |
| 2 指定文化財ほか | 3 |
| 3 説明板設置事業 | 4 |
| 4 文化財防火デー | 5 |
| 5 一般文化財 | 5 |
| 6 教育・普及事業 | 8 |
| 第2章 埋蔵文化財 | 14 |
| 1 平成28年度 埋蔵文化財保護行政概要 | 14 |
| 2 平成28年度 試掘調査概要 | 15 |
| 3 平成29年度 埋蔵文化財保護行政概要 | 17 |
| 4 平成29年度 試掘調査概要 | 18 |

表・挿図 目次

| | | | |
|-------------------------|----|-----------------------|----|
| 第1-1表 文化財保護審議会委員名簿 | 1 | 第2-1表 平成28年度 試掘調査一覧 | 14 |
| 第1-2表 平成28年度審議会活動 | 1 | 第2-2表 平成28年度 開発の届出件数 | 14 |
| 第1-3表 平成29年度審議会活動 | 3 | 第2-3表 平成28年度 包蔵地問合せ件数 | 14 |
| 第1-4表 平成28年度 歴史講座（全12回） | 9 | 第2-4表 平成29年度 試掘調査一覧 | 17 |
| 第1-5表 平成29年度 歴史講座（全9回） | 10 | 第2-5表 平成29年度 開発の届出件数 | 17 |
| 第1-6表 平成28年度 講師派遣依頼 | 11 | 第2-6表 平成29年度 包蔵地問合せ件数 | 17 |
| 第1-7表 平成29年度 講師派遣依頼 | 12 | | |

第1章 文化遺産の保護と活用

1 文化財保護審議会

平成28年度の文化財保護審議会は委員の改選が行われ、甲斐市文化財保護条例第20条1項に基づき、平成26年度・27年度に引き続き坂本 美夫氏が会長に選任された。また、同条例第3項に基づき、坂本会長から新津 健氏が職務代理に指名され、引き続きの選出となった。委員は2年任期であるため、平成28年度から同29年度の甲斐市文化財保護審議会委員は下表のとおりとなり、全員が再任となった。

第1-1表 文化財保護審議会委員名簿（任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日）

| 役 職 | 氏 名 | 担 当 |
|------|-----------|----------|
| 会 長 | 坂 本 美 夫 | 史跡・有形文化財 |
| 職務代理 | 新 津 健 | 名勝・有形文化財 |
| 委 員 | 中 込 司 郎 | 天然記念物 |
| 委 員 | 鈴 木 麻 里 子 | 有形文化財 |
| 委 員 | 畑 大 介 | 有形文化財 |

第1-2表 平成28年度審議会活動

| 開 催 日 | 内 容 | 開 催 場 所 |
|-----------------|--|----------------|
| 平成28年4月28日 | 委員委嘱状交付式及び第1回審議会 | 甲斐市役所 |
| 平成28年11月17日～18日 | 委員研修 【1日目】 下野薬師寺跡（栃木県下野市薬師寺1647） 下野薬師寺歴史館（栃木県下野市薬師寺1636） 道鏡塚・龍興寺のシラカシ（栃木県下野市薬師寺1416） 鑑真和尚の碑（栃木県下野市薬師寺1421） 下野園分寺跡・しもつけ風土記の丘資料館 （栃木県下野市園分寺993） 新田荘歴史資料館（群馬県太田市良田町3113-9） 【2日目】 かみつけの里博物館（群馬県高崎市井出町1514） 保渡田八幡塚古墳（群馬県高崎市保渡田町2000-1） 多胡碑記念館（群馬県高崎市吉井町池1085） 富岡製紙場（群馬県富岡市富岡1-1） 群馬県立自然史博物館（群馬県富岡市黒岩1674-1） | 栃 木 県 群 馬 県 |
| 平成28年11月25日 | 第2回審議会 及び 甲斐市議会総務教育常任委員会との意見交換会 | 甲斐市役所 |

【第1回】

- ①平成27年度指定文化財保護事業の報告
- ・慈照寺防災施設改修事業（放水銃ほか）
 - ・安楽寺木造阿弥如来坐像修復事業
 - ・黄梅院跡（防火水槽埋め戻し工事に伴う）の現状変更
 - ・指定文化財看板（法久寺のカシワ、慈照寺庭園）設置事業
 - ・慈照寺木造釈迦如来及び両脇侍坐像の県指定について
 - ・山縣神社の国登録有形文化財について
- ②平成28年度の文化財関係事業の説明
- ・御岳田遺跡第7次発掘調査 ・歴史講座

【第2回】

- ①天澤寺山門の調査 ②慈照寺法堂の現状変更
③西八幡のカエデ剪定 ④埋蔵文化財の調査
- 審議会後、甲斐市議会総務教育常任委員会との意見交換会

その他

山梨県文化財保護審議会有形文化財部会の委員・麗 和普氏（名古屋工業大学大学院教授）が、市内建造物等の調査に2度来訪。市指定文化財の天澤寺山門、慈徳院五輪塔、峰観音堂のほか、志田の網蔵邸（未指定）を実見された。



第1回会議の様子



麗委員の調査（天澤寺山門）



委員研修（下野薬師寺跡）



委員研修（龍興寺）



委員研修（保渡田八幡塚古墳）



委員研修（富岡製糸場）

第1-3表 平成29年度審議会活動

| 開催日 | 内容 | 開催場所 |
|-------------|--------|------|
| 平成29年12月21日 | 第1回審議会 | 甲斐市 |

平成29年度 文化財保護審議会 主要議題

【第1回】

- ①松ノ尾遺跡第16次発掘調査について
- ②指定文化財について
 - ・天澤寺山門（市指定）…県文審有形文化財部会の調査、建立に関わる古文書等の調査（審委員）
 - ・慈照寺 絹本着色仏涅槃図（市指定）…軸木の追加指定について
 - ・建造物（市指定）防火設備関連（袴腰天神本殿、神明神社本殿、松尾神社本殿、峰観音堂）
 - ・上菅口のネズ（県指定）…樹勢に影響が生じているヒノキ枝について
 - ・神戸の絵馬（未指定）…指定調査作成について
- ③その他（網蔵家住宅、金の尾遺跡発見40年記念シンポジウムの実行）
- ④現地踏査（松ノ尾遺跡第16次発掘調査現場）



天澤寺山門 古文書調査（審委員）
（甲斐市・内田家文書）



文化庁調査官来県（志田・網蔵家）

2 指定文化財ほか

（1）平成28年度

①西八幡のカエデ（市指定・天然記念物）の剪定

天然記念物維持管理のための剪定を行った。

②国登録有形文化財の登録について

平成28年8月1日付けで、山縣神社の本殿・拝殿・手水屋・鳥居が国登録有形文化財（建造物）となった。

③慈照寺法堂（県指定・建造物）の現状変更申請

「次年度に行う晋山式に備え、法堂内の須弥壇（未指定）の修理等を行いたい」と、慈照寺から市教育委員会へと相談があり、ただちに山梨県教育委員会学術文化財課に報告を行った。平成28年8月25日に、山梨県文化財保護審議会 有形文化財部会の麓 和善委員（名古屋工業大学大学院教授）が現地を視察、助言をいただいた。

現状変更を行う部分は、須弥壇、床組、桁、縁板（えんいた）である。平成28年10月21日、慈照寺から提出された文化財現状変更許可申請書を山梨県教育委員会宛に到達し、同26日に現状変更の許可。平成29年1月13日に現状変更完了報告書が慈照寺から提出され、同19日に山梨県教育委員会教育長宛に到達した。

④特別天然記念物カモシカの死亡確認

平成29年3月10日、下芦沢地内で「不法投棄の巡視中にカモシカの死骸を発見した」と連絡があり、市農林振興課と共に現地を確認した。個体はメス、疥癬症による衰弱死とみられる。発見者、市農林振興課職員、市生涯学習文化課職員の計3名で、発見現場付近の山中に埋葬した。その後、山梨県教育委員会教育長宛に死亡確認及び処理状況の報告を行った。

(2) 平成29年度

①文化財のき損届（国登録・山縣神社拝殿）

平成29年4月1日に京都府や奈良県等で、国指定文化財等に液体が散布される事案が発生し、文化庁から文化財所有者や管理団体等に注意喚起をするよう依頼があった。き損届が提出された山縣神社では、毎朝宮司が巡視を行っていたものの、5月1日・2日にかけて、国登録有形文化財（建造物）である山縣神社拝殿の柱下部に液体が散布された痕跡を確認した。山縣神社はただちに市教育委員会と蘆崎警察署へ連絡し、警察署による実況見分が行われた。それによると、散布された液体に油脂は含まれていないことが判明したため、水拭きを行い、汚れをおとした。これに鑑み、市内指定文化財管理責任者宛に、改めて文化財の防犯体制の徹底について通知を行った。

②天澤寺山門（市指定・建造物）の県指定

これまで、天澤寺山門は山梨県文化財保護審議会有形文化財部会委員の現地視察が数度にわたって行われた。その結果、「三間一戸梁間三間の楼門は、山梨県及びその近郊における地域的な特徴である可能性」、「墓設などの細部意匠が優れており、木鼻の抽象的霊獣彫刻は宝暦期の特徴をよく表している」という点などから、平成30年3月1日付けで、山梨県指定有形文化財として指定された。なお、山門修理に関する記録は、平成28年度に甲斐市文化財調査報告第27集『甲斐市指定有形文化財 天澤寺山門保存修理工事報告書』として刊行した。



天澤寺山門（修理後）

3 説明板設置事業

甲斐市内には、国指定3件・県指定24件・市指定76件、合計103件の指定文化財が所在し、4件の国登録文化財がある（令和2年度現在）。市教育委員会では市民をはじめ多くの方々に広く文化財のことを知ってもらう為の取り組みの一つとして、文化財説明板の整備を進めている。平成28年度・29年度は、標柱の設置・新規説明板設置を行った。

・平成28年度…山縣神社鳥居（国登録・建造物）

・平成29年度…金の尾遺跡

4 文化財防火デー

文化財防火デーに伴う立入検査（甲府地区消防本部西消防署）および防火訓練が、以下のとおり行われた。

・平成28年度 第63回文化財防火デー

立入検査（1/26）…慈照寺（法堂・山門ほか）、長光寺（峰観音堂）、天澤寺（山門ほか）、金剛寺（袴腰天神本殿ほか）、山縣神社（山県大貳自筆著書並墨書）、神明神社本殿、松尾神社本殿

消防防火訓練（1/29）…光照寺薬師堂

・平成29年度 第64回文化財防火デー

立入検査（1/26）…慈照寺（法堂・山門ほか）、長光寺（峰観音堂）、天澤寺（山門ほか）、金剛寺（袴腰天神本殿ほか）、山縣神社（山県大貳自筆著書並墨書）、神明神社本殿、松尾神社本殿（前年と同様）

消防防火訓練（1/28）…光照寺薬師堂

5 一般文化財

（1）平成28年度

①龍泉院（大字龍地）の地藏菩薩坐像及び十王像

平成28年1月8日、妙善寺（大字宇津谷）住職から、「龍泉院の須弥壇下から来歴不明の像を発見した」との連絡を受けた。同年1月18日に市文化財保護審議会 鈴木 麻里子委員とともに文化財係職員が現地確認、および簡易調査を行った。その後、鈴木委員から報告書が提出され、「本像の制作は、当寺草創期の桃山時代頃かと推定される」との見解をいただいた。



龍泉院の仏像調査

（2）平成29年度

①諏訪神社（大字牛匂）の雨乞い行事（実施せず）

牛匂地区では、平成25（2013）年7月に昭和42（1967）年6月以来46年ぶりに雨乞い行事が行われ、新聞等でも報道された。本年度も雨量が少なく、平成29年6月20日に雨乞い行事の準備を進めたものの、降雨に恵まれ行事は行われなかった。

平成25年（2013）8月の市広報によると、概要は以下のとおりである。

牛匂地区の雨乞いは江戸時代にさかのぼるとされ、「ご神体をいじめぬくと雨が降ってくる」という言い伝えがある。

諏訪神社にある石尊（石杵）を担ぎ、荒川から取水する一ノ塚（上条塚）と宮塚が接する地点まで行き高台に置く。白装束の参加者たちは「ザンゲザンゲ ロッコシヨウジョウ」の掛け声とともに、石尊を抱きかかえる者に四方から水をかけたり、竹で小突いたりし、今後の適度な降雨を祈願した。（市広報から抜粋）



諏訪神社の雨乞い行事準備

②中村家住宅（大袋2592番地）の取り壊し

平成29年7月3日、団子新居の中村家住宅（水番所）が近々取り壊されるという連絡を受け、文化財係職員2名で現地へ向かった。所有者の了解を得たのち、外観および内部の写真を撮影した。外観はやや東に傾いている印象を受けた。屋根は北側中央付近が大きく陥没している。正面裏手には雨落ち溝状の石組みがあり、石組みの位置的に桶無雁から取水していた可能性も考えられるが、詳細は不明である。また、内部に家具等はなく、所々床が抜けていた。破損していた襖には、下張り文書が貼付されているのを確認し、内容を雑駁に確認したところ、金銭貸し借りに関する文書と思われた。なお、取り壊し工事に際して、屋根の鬼瓦2点と棟札を所有者から市へ寄付していただいた。

◆中村家住宅について

平成25年度まで甲斐市文化財保護審議委員会をお努めいただいた羽中田壯雄氏が作成した資料（「平成8年度 第2回北巨摩市町村文化財審議会委員連絡協議会 資料」）に詳細な記述があったため、以下引用転載する。

構造形式 桁行12間、梁間5間、入母屋造、南面玄関、軒唐破風付、棧瓦葺、北東部浴室・便所、北西部便所附属

年 代 文政13年（1830）江戸末期（初）

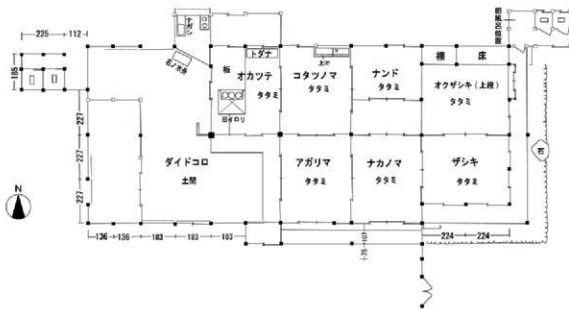
資 料 棟札、棟札箱 江川太郎左衛門家作棟札

沿 革 慶長6年（1597）、旧武田家臣の中村弥左衛門尉が居住（系図）

文政9年（1826）焼失

文政12年（1829）焼失

文政13年（1830）再建、現在に至る



中村家住宅 平面図

（『日本の民家調査報告書集成 第9巻 中部地方の民家 3 山梨 長野』（東洋書林・1998 合冊復刻版）、現状平面・痕跡図をもとにトレース

また、『日本の民家調査報告書集成 第9巻 中部地方の民家 3 山梨 長野』（東洋書林・1998 合冊復刻版）p192～193・310・399に詳細な調査報告があり、それを参考に建物規模以外の部分を要約すると以下のとおりとなる。

- ・調査に訪れた際、表側の3室を使って養蚕中であった
- ・当家は江戸時代に名主を勤め、苗字帯刀御免の家柄
- ・多くの古文書を蔵する
- ・系図によれば武田家目付衆の中村弥左衛門尉を祖とし、武田家滅亡後にその曾孫が慶長2年（1597）年に団子新居村に居を移したのに始まるという
- ・「甲斐国志」巻二十「穂坂渠」の条に、当祖先祖の事績が載せられている
- ・主屋の年代は、昭和50年5月の調査時に棟札箱が発見されたことによる
- ・棟札には「伊豆蘆山江川太郎左衛門家作棟札」とあるが、縁続きと思われる江戸本所中村家から江川家棟札が送られ、文政13年（1830）10月に棟札箱に納めて大黒柱に取り付けたことが判明

また、古文書に関しては、合併前の双葉町文化財審議会の委員であった更級乙男氏が、当所蔵文書を翻刻・分類し、目録と翻刻文が存在する（平成28年更級氏から市教委へ寄贈）。なお、保坂吾良吉氏（旧双葉町文化財審議会委員・元甲斐市文化財保護審議会委員）の『双葉町百話集』（2004）にも当所住宅に関する記述があるが、内容は上記資料をもとにして執筆したものと思われる。それ以外の記述として、「中村家は江戸時代より「団子新居村の中村六郎右衛門」を代々襲名している家で、「団六さん」と呼称されていた」、「楯無堰の出張詰所・水管理小屋を兼ねた武家様式の書院造りを造ることが甲府動番支配から許された」との記述がある。



中村家住宅（正面・南から）



中村家住宅と楯無堰（南東から）



中村家住宅（北西から）



中村家住宅軒下



中村家住宅北側 石組み (西から)



中村家住宅 棟札



中村家住宅 内部



中村家住宅 下張り文書

6 教育・普及事業

甲斐市内や甲斐市に関係する文化遺産について、市民の方に広く理解してもらった歴史講座と、講師派遣依頼に基づいた市内文化遺産等の解説を行った。詳細は第1～4表～7表のとおりであるが、特筆すべき事業として、金の尾遺跡のシンポジウムが挙げられるため、以下に詳述する。

金の尾遺跡発見40年記念シンポジウム

平成29年度(2017)は金の尾遺跡が発見されて40年という節目の年であることから、「～よみがえる弥生の歴史～金の尾遺跡発見40年記念シンポジウム」を、竜王図書館2階視聴覚室で開催した。会場となる竜王図書館2階では、シンポジウムに合わせて記念展示を行い、これまでに出土した遺物をもとより、当時の発掘調査の様子などをまとめた写真展示も行った。本シンポジウムの主催は甲斐市・甲斐市教育委員会・一般社団法人自治総合センター。共催は山梨県考古学協会、後援は総務省である。また、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受け、金の尾遺跡を紹介するカラー冊子を作成した。くわえて、共催の山梨県考古学協会の2017年度地域大会としても行い、『山梨考古』第145号で特集号を刊行した。カラー冊子及び特集号は来場者の当日資料として配布した。

シンポジウムの内容は、甲斐市教育委員会職員の概要報告からはじまり、発見当時の発掘担当者であった末木健氏(山梨県考古学協会会長)の基調報告では、発見当時の驚きや苦勞などを生々しく語っていただいた。続いて中山誠二氏(山梨県埋蔵文化財センター所長)には遺跡をまちづくりを活用した事例や今後の甲斐市の展望をご講演いただいた。基調講演では、日本を代表する弥生時代研究者である日本大学の浜田晋介氏と、明治大学の石川日出志氏の両氏に、金の尾遺跡を広域的な視点でご講演いただいた。

<第1部> 報告・講演 (敬称略)

| | | | |
|------|-----------------------|--------------|-------|
| 報告 | 「金の尾遺跡について」 | 甲斐市教育委員会 | 大嶋 正之 |
| 基調報告 | 「金の尾遺跡 ～発見から調査まで～」 | 山梨県考古学協会 | 末木 健 |
| 講演 | 「遺跡を活かしたまちづくり」 | 山梨県埋蔵文化財センター | 中山 誠二 |
| 基調講演 | 「弥生時代後期の中部高地と東海地方の交流」 | 日本大学 | 浜田 晋介 |
| 基調講演 | 「東日本の弥生文化」 | 明治大学 | 石川日出志 |

<第2部> パネルディスカッション

テーマ①「東日本の弥生時代と金の尾遺跡」

テーマ②「金の尾遺跡の活かし方」 コーディネーター：中山 誠二

パネラー：石川日出志・浜田晋介・末木 健・稲垣自由（・大嶋正之）



記念展示の様子



パネルディスカッション

第1-4表 平成28年度 歴史講座 (全12回)

| 開催日 | 講座名 | 講師 | 内容 | 参加人数 |
|--------------------------------|-------------------------|--|---|----------------------|
| 6月8日 6月22日 7月6日 7月20日 | 古文書講座 | 小畑 茂雄氏 中野 賢治氏 小林 可奈氏 海老沼真治氏 (山梨県立博物館学芸員) | 県立博物館学芸員を講師に迎え、市内に係する古文書を読む講座の入門編 | 12 13 13 12 |
| 7月30日 | 夏休み子ども歴史講座 大きな勾玉づくり | 村松 圭子氏 (山梨県考古学協会) | | 26 |
| 8月10日 | 夏休み子ども歴史講座 縄文クッキーづくり | 中澤 佑香氏 | ナチュラルフード研究者による、植物性の材料のみを使用したクッキーづくり | 17 |
| 8月17日 | 夏休み子ども歴史講座 資料館の裏側探検 | 市学芸員 | ドラゴンパーク展望台や各整理室での作業風景を案内・体験 | 10 |
| 10月1日 | 仏像を学ぶ | 鈴木 麻里子氏 (市文化財保護審議会委員) | 10/1: 県内研修…大善寺・九品寺・東光寺 | 24 |
| 10月29日 | 鎌倉時代の仏像一 巡歴を見に行こう! | | 10/29: 県外研修…瑞林寺(富士市)・順成就院(伊豆の国市)・かんなん仏の里美術館(田方郡南町) | 24 |
| 10月11日 | 植物文化財を学ぶ | 中込 司郎氏 (市文化財保護審議会委員) | 10/11: 河口浅間神社の七本スギ・北口本宮富士浅間神社の太郎杉、夫婦松・中ノ茶屋のフジザクラ、レンジツツジ | 15 |
| 11月8日 | | | 11/8: 下萩原のムクロジ・菅田神社のカシ郡・万力林のヤブツバキ、アカメヤナギ・万福寺のムクノキ・浅間神社の夫婦ウメ | 15 |
| 3月4日 | 石造物を学ぶ | 畑 大介氏 (市文化財保護審議会委員) | 塩沢寺・窪八幡神社・信玄公宝物館・栖雲寺・景徳院 | 24 |

第1-5表 平成29年度 歴史講座（全9回）

| 開催日 | 講座名 | 講師 | 内容 | 参加人数 |
|------------------|---------------------------|--------------------------|---|----------|
| 6月27日 | 植物文化財を学ぶ | 中込 司郎氏 (市文化財保護審議会委員) | 普禪院のカヤ・寺平のオニグルミ・金桜神社の七本スギ・西八幡のカキ、カエデ・表門神社のコツプガヤ・一ノ瀬グワ・薬王寺のオハツキイチョウ・流通寺のビャクシン | 12 |
| 7月29日 | 夏休み子ども歴史講座 大きな勾玉づくり | 村松 圭子氏 (山梨県考古学協会) | | 8 |
| 9月23日 | 卑弥呼の時代を探る | 新津 健氏 (市文化財保護審議会委員) | 山梨県立考古博物館・風土記の丘・ふるさと伝承館・金生遺跡・北州市考古資料館・蘆崎市民俗資料館 | 17 |
| 10月21日 11月11日 | 仏像を学ぶ | 鈴木 麻里子氏 (市文化財保護審議会委員) | 10/21: 県内研修…東禪寺・法泉寺・青松院 11/11: 県外研修…瑠璃寺(下伊那郡高森町)・無量寺(上伊那郡箕輪町)・薬王寺(上伊那郡長野町) | 23 23 |
| 11月18日 11月25日 | 山梨大武没後250年 大学者 山縣大武を学ぶ | 市学芸員 | 大武先生の生い立ちと活躍 名著「柳子新論」とは | 11 7 |
| 2月24日 | 信玄堤の構想と実体を探る | 畑 大介氏 (市文化財保護審議会委員) | 信玄堤・三社神社・竜王河原宿・石積出し・梶形堤防・六科得棋頭・下条南側得棋頭・瀬切・十六石・かすみ堤・鍛冶新居 | 18 |
| 3月10日 | 城館の歴史と見方を学ぶ | 畑 大介氏 (市文化財保護審議会委員) | 新府城跡・能見城防塁・武田氏館跡・甲府城跡 | 24 |



平成28年度 大きな勾玉づくり



平成28年度 資料館の裏側探検



平成28年度 植物文化財を学ぶ
(河口浅間神社の七本スギ)



平成29年度 卑弥呼の時代を探る
(金生遺跡)



平成29年度 仏像を学ぶ(無量寺)



平成29年度 信玄堤の構想と実体を探る
(桐形堤防)

第1-6表 平成28年度 講師派遣依頼

| | 開催日 | 依頼者 | 内容 | 参加人数 |
|----|---------------|------------------|---|------|
| 1 | 4月6日 | 竜王新町いきいきサロン | 御岳信仰と御嶽道 | 18 |
| 2 | 4月8日 | 西町いきいきサロン | 地名の歴史と志麻荘 | 15 |
| 3 | 4月13日 | 山梨放送(YBS) | 2016ダイードドリンク日本の祭り 「おみゆきさん」取材 | - |
| 4 | 4月18日 | 竜王新町いきいきサロン | 山縣大武(紙芝居付) | 18 |
| 5 | 4月20日 | 市文化協会郷土研究部長 | 總會記念講演(大庭遺跡、松ノ尾遺跡) | 20 |
| 6 | 5月7日 | 積石塚・渡来人研究会会長 | 古墳から寺院へ(場所:県立図書館) | 60 |
| 7 | 5月10日 | 群馬県道路協会館林支部(群馬県) | 信玄堤 | 16 |
| 8 | 5月15日 | 山梨放送(YBS) | 2016ダイードドリンク日本の祭り 「おみゆきさん」放送 | - |
| 9 | 5月16日 | 月林区ふれあい会 | 山縣大武について | 15 |
| 10 | 5月19日 | 玉川団地2区いきいきサロン | 地域の歴史文化(地名ほか) | 15 |
| 11 | 5月24日 | 双葉東小学校長 | 塩崎駅・泣石・光照寺の学習 | 123 |
| 12 | 6月14日 | 敷島台いきいきサロン | 地域に残る伝統行事 | 15 |
| 13 | 6月22日 | 中巨摩教育協議会長ほか | 船形神社について | 25 |
| 14 | 7月6日 | 双葉中学校長 | 職場体験学習 | 3 |
| 15 | 7月8日 | 双葉東小学校長 | 御座石の学習 | 10 |
| 16 | 7月8日 | 西町いきいきサロン | 地域に残る伝統行事 | 17 |
| 17 | 7月9日 | 清川地域ふれあい館長 | 史跡巡り(大村美術館ほか) | 23 |
| 18 | 7月20日 | 町屋南いきいきサロン | 地名の歴史と志麻荘 | 16 |
| 19 | 7月21日 | 敷島台楽寿会ほか | 史跡巡り(治水関連) | 30 |
| 20 | 7月30日~ 31日 | 考古学研究会 窯跡研究会 | 中部地方の瓦窯の構造・事例報告 (場所:名古屋大学・愛知県立陶磁美術館) | 60 |
| 21 | 8月5日 | 中巨摩教育協議会長ほか | 信玄堤の役割と御幸祭 | 27 |
| 22 | 8月20日 | 松島団地いきいきサロン | 地域に残る伝統行事 | 15 |
| 23 | 8月23日 | 宮地いきいきサロン | 地域に残る伝統行事 | 20 |
| 24 | 8月23日 | 市人事課長 | 大学生インターンシップ(山梨大学ほか) | 5 |
| 25 | 8月26日 | 桐朋女子高等学校長(東京都) | 信玄堤 | 23 |
| 26 | 9月9日 | 中巨摩教育協議会長 | まちの昔をさがそう | 27 |
| 27 | 9月15日 | 天狗沢いきいきサロン | 天狗沢瓦窯跡 | 25 |
| 28 | 9月21日 | 吉沢地域ふれあい館長 | 史跡巡り(一宮浅間神社ほか) | 25 |

| | | | | |
|----|--------|---------------------|-------------------------|-----|
| 29 | 9月26日 | 竜王小学校長 | 竜王のよさについて知ろう | 71 |
| 30 | 9月30日 | 狭山ヶ丘高等学校附属中学校長(埼玉県) | 信玄堤の解説 | 70 |
| 31 | 10月5日 | 峡中地区社会教育の会 | 山縣大武、山縣神社 | 20 |
| 32 | 10月7日 | 西町いきいきサロン | 信玄堤と治水事業 | 17 |
| 33 | 10月22日 | 甲府地区広域行政事務組合管理者 | ふるさと再発見ツアー(信玄堤と三社神社) | 81 |
| 34 | 11月2日 | 竜王北小学校長 | 信玄堤ほか | 69 |
| 35 | 11月7日 | 竜王小学校 | 信玄堤(昔から今へと続くまちづくり) | 78 |
| 36 | 11月9日 | 中巨摩教育協議会長 | 往生塚古墳ほか | 25 |
| 37 | 11月11日 | 南部町立睦合小学校長 | 信玄堤 | 22 |
| 38 | 11月18日 | 身延町立下山小学校長 | 信玄堤 | 10 |
| 39 | 11月22日 | いきいき希望ヶ丘 | 治水(現地研修) | 24 |
| 40 | 11月23日 | 大下条いきいきサロン | 地域のお祭り | 40 |
| 41 | 12月5日 | 竜王東小学校長 | 信玄堤ほか | 39 |
| 42 | 12月14日 | 山梨放送(YBSラジオ) | 羅漢寺紹介 | 不特定 |
| 43 | 1月7日 | 県立考古博物館 | 甲斐市の出土品I(敷島)展示解説 | 14 |
| 44 | 1月11日 | 中巨摩教育協議会長ほか | 双葉資料館案内 | 25 |
| 45 | 1月16日 | 大久保いきいきサロン | 大久保の歴史 | 20 |
| 46 | 1月20日 | 双葉西小学校長 | 地域公開授業への参加 | 43 |
| 47 | 1月23日 | 敷島北小学校長 | まちの人たちがうけつぐ行事 | 37 |
| 48 | 1月24日 | 竜王東小学校長 | まちの人たちがうけつぐ行事 | 49 |
| 49 | 2月7日 | 敷島小学校長 | まちの人たちがうけつぐ行事 | 54 |
| 50 | 2月14日 | 竜王小学校長 | さぐってみよう 昔のくらし | 68 |
| 51 | 2月17日 | 山梨ことぶき勸学院長 | 舞土の歴史 | 42 |
| 52 | 2月24日 | 竜王西小学校長 | まちの人たちがうけつぐ行事 | 51 |
| 53 | 3月1日 | 山梨放送(YBSラジオ) | 光照寺紹介 | 不特定 |
| 54 | 3月11日 | 山梨県埋蔵文化財センター所長ほか | 2016年度下半期遺跡調査発表会「御岳田遺跡」 | 100 |

第1-7表 平成29年度 講師派遣依頼

| | 開催日 | 依頼者 | 内容 | 参加人数 |
|----|-------|------------------|-------------------|------|
| 1 | 4月4日 | 山梨ことぶき勸学院中北教室 | 信玄堤・三社神社の解説 | 27 |
| 2 | 4月10日 | ㈱フィクス・ディメンション(株) | 信玄堤に関する取材同行 | - |
| 3 | 4月14日 | 月林区ふれあい会 | 甲斐市の史跡・古墳 | 15 |
| 4 | 4月19日 | 市文化協会郷土研究部長 | 總會記念講演(地域に残る伝統行事) | 30 |
| 5 | 4月25日 | 長塚しおりの会 | 敷島の歴史・遺跡・昔話 | 20 |
| 6 | 5月22日 | 双葉東小学校長 | 塩崎駅・泣石・光照寺の学習 | 105 |
| 7 | 5月31日 | 松島団地自治会 | 文化財ウォーキング | 30 |
| 8 | 6月4日 | 八幡神社総代会総代長 | 八幡神社の歴史について | 40 |
| 9 | 6月17日 | 上町北いきいきサロン | 上町・島上条の文化遺産 | 40 |
| 10 | 7月8日 | 清川地域ふれあい館長 | 史跡巡り(新倉掘り抜き史跡館ほか) | 25 |
| 11 | 7月14日 | 西町いきいきサロン | | 15 |
| 12 | 7月20日 | 敷島台楽寿会長 | 史跡巡り | 25 |
| 13 | 7月26日 | 市人事課長 | 白根高生インターンシップ | 2 |
| 14 | 8月4日 | 市自治会連合会長 | 伝統行事から見る気象 | 50 |
| 15 | 8月8日 | 松島団地いきいきサロン | 市内の武田氏の遺産 | 20 |

| | | | | |
|----|--------|---------------------------------|------------------------------------|-----|
| 16 | 8月18日 | 中巨摩教育協議会長ほか | 羅漢寺 | 10 |
| 17 | 8月22日 | 宮地ふれあいサロン | 甲斐市の遺跡 | 20 |
| 18 | 8月25日 | 桐朋女子高等学校長（東京都） | 信玄堤 | 15 |
| 19 | 8月31日 | 市人事課長 | 山梨学院大学生インターンシップ | 2 |
| 20 | 9月1日 | 大久保いきいきサロン | 数島の歴史・文化財について | 25 |
| 21 | 9月12日 | ことぶき勸学院25期会長 | 武田氏の文化遺産（一条小山、窪八幡ほか） | 20 |
| 22 | 10月5日 | 数島南小学校長 | 信玄堤ほか | 83 |
| 23 | 10月14日 | 金の尾遺跡シンポジウム | 金の尾遺跡発見40周年記念事業 | 127 |
| 24 | 10月16日 | 上町南いきいきサロン | 地名から見る島上条の歴史 | 22 |
| 25 | 10月18日 | 竜王北小学校長 | 信玄堤ほか | 68 |
| 26 | 10月25日 | 大下条いきいきサロン | 地名から見る大下条の歴史 | 55 |
| 27 | 10月26日 | 糠沢地域ふれあい館長 | 史跡巡り（甘草屋敷、景德院ほか） | 23 |
| 28 | 10月27日 | いきいき希望ヶ丘 | 市北部探訪（牛句諏訪神社ほか） | 23 |
| 29 | 10月27日 | 市人事課長 | 数島中生インターンシップ | 3 |
| 30 | 11月2日 | 身延町立下山小学校長 | 信玄堤 | 18 |
| 31 | 11月7日 | 竜王小学校長 | 信玄堤 | 68 |
| 32 | 11月21日 | IGRいわて銀河鉄道株式会社 銀河鉄道観光所長（岩手県） | 信玄堤 | 20 |
| 33 | 12月4日 | 竜王東小学校長 | 信玄堤ほか | 53 |
| 34 | 12月8日 | 南部町立睦合小学校長 | 信玄堤 | 26 |
| 35 | 12月14日 | 自治会連合会双葉支部長 | 双葉ヒストリア まず地元から | 30 |
| 36 | 12月20日 | 自治会連合会竜王支部長 | 竜王ヒストリア まず地元から | 30 |
| 37 | 1月6日 | 県立考古博物館長 | 甲斐市の出土品Ⅱ（双葉・竜王）展示解説 | 55 |
| 38 | 1月10日 | 中巨摩教育協議会長ほか | 信玄堤の治水・水害の歴史 | 10 |
| 39 | 1月23日 | 竜王東小学校長 | おみゆきさんと山縣大武学問祭りについて | 46 |
| 40 | 1月24日 | NNS日本ネットワークサービス | CATV情報Maxはやべん 山梨大武関連文化遺産（取材・放送） | 不特定 |
| 41 | 1月27日 | 松島団地自治会長 | 金の尾遺跡について | 27 |
| 42 | 1月29日 | 竜王西小学校長 | おみゆきさんについて | 59 |
| 43 | 2月9日 | 西町いきいきサロン | 弥生時代の甲斐市 | 15 |
| 44 | 2月13日 | 山梨ことぶき勸学院長 | 文化遺産から探る地球の環境と災害 | 26 |
| 45 | 2月22日 | 竜王小学校長 | さぐってみよう 昔のくらし | 90 |
| 46 | 3月7日 | 富竹新田3区和会 | 小学・大学について | 25 |
| 47 | 3月13日 | なとりサロン | 信玄堤・おみゆきさん | 30 |
| 48 | 3月15日 | 月林区ふれあい会 | 甲斐市の古墳 | 15 |

第2章 埋蔵文化財

1 平成28年度 埋蔵文化財保護行政概要

当該年度の試掘件数は第2-1表に示したとおりである。試掘件数は前年度に比べ8件減である。届出や包蔵地問合せは前年度と同程度であるため、試掘対象となる届出が少なかったといえる。

第2-1表 平成28年度 試掘調査一覧

| No. | 遺跡名 | 調査地点 | 対象面積 (㎡) | 発掘面積 (㎡) | 調査原因 | 種別 | 主な遺構 | 主な遺物 | 指示番号 | 備考 |
|-----|-------|-------------------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-------|------------|----------------------------|---------------------------|
| 1 | 御岳田遺跡 | 甲斐市大下条684-1ほか7筆 | 759 | 57 | 異道拡張 | 集落跡 墓域 | 型穴建物 | 土師器 | 平成26年10月14日付・ 教学文第1962号 | 平成28年度 本調査済(御 岳田8) |
| 2 | 北浦遺跡 | 甲斐市龍地5353、5354、 5355 | 2211 | 62 | 宅地造成 | 散布地 | なし | なし | 平成28年6月21日付・ 教学文第940号 | |
| 3 | 番地 | 甲斐市富竹新田1416-1 | 427 | 15 | 社員住宅 | 堀防跡 | なし | なし | 平成28年9月5日付・ 教学文第1534号 | |
| 4 | 沖田遺跡 | 甲斐市竜王新町886-1 | 2110 | 41 | 宅地造成 | 散布地 | なし | なし | 平成28年9月14日付・ 教学文第1642号 | |
| 5 | 原遺跡 | 甲斐市高上条2731-1 | 419 | 3 | 個人住宅 浄化槽 | 散布地 | なし | なし | 平成28年6月3日付・ 教学文770号 | |
| 6 | 鳥塚C遺跡 | 甲斐市龍地244-1他 | 9913 | 97 | 宅地造成 | 散布地 | なし | なし | 平成29年1月25日付・ 教学文第2615号 | |
| 7 | 藤原墓址 | 甲斐市藤原2311-1 | 744 | 9 | 宅地造成 | 城館跡 | なし | 陶器片 | 平成29年2月7日付・ 教学文第2724号 | |
| 8 | 内敷東遺跡 | 甲斐市境459-4 | 261 | 2 | 個人住宅 浄化槽 | 散布地 | なし | なし | 平成28年9月21日付・ 教学文第1706号 | |
| 9 | 松ノ尾遺跡 | 甲斐市中下条1839-1、 1840-4 | 3487 | 190 | 幼稚園 建設 | 集落跡 墓域 | 溝、ピット | 土師器 須恵器 | 平成29年3月9日付・ 教学文第3060号 | 平成29年度 本調査済(松 ノ尾16) |

第2-2表 平成28年度 開発の届出件数

| | 93条 (民間開発) | 94条 (公共工事) | 試掘依頼 | 計 |
|------|---------------|---------------|------|----|
| 試掘調査 | 7 | 1 | 0 | 8 |
| 工事立会 | 62 | 6 | 0 | 68 |
| 慎重工事 | 12 | 2 | 0 | 14 |
| 計 | 81 | 9 | 0 | 90 |

第2-3表 平成28年度 包蔵地問合せ件数

| | 包蔵地内 | 包蔵地外 | 計 |
|-------|------|------|-----|
| 問合せ件数 | 180 | 781 | 961 |

2 平成28年度 試掘調査概要

遺構・遺物を確認した第2-1表中のNo.1、No.9の2件について以下に概要をまとめた。なお、試掘トレンチの番号については、TR-(番号)と表記する。

No.1 御岳田遺跡

所在地 大下条684-1他7筆

調査原因 県道拡幅工事

調査期間 平成28年6月21日～7月6日

調査面積 57.25㎡

調査担当 長谷川哲也

山梨県道25号(甲斐中央線)の拡幅工事に伴い、試掘調査を実施した。拡幅部分に2か所のトレンチを設定し調査を行ったところ、遺構・遺物を確認した。

そのため、同年度に本調査を行い、平成29年度に発掘調査報告書を刊行した(『御岳田遺跡8』)。旧河道中に立地する平安時代の竪穴建物跡を中心に検出した。詳細は同書を参照。



御岳田遺跡 試掘調査位置図



県道東側 掘削前状況(南から)



県道東側 土層堆積状況(南から)



県道西側 掘削状況(南から)



県道西側 調査風景(西から)

No.9 松ノ尾遺跡

所在地 中下条1839-1

調査原因 保育園建設工事

調査期間 平成29年3月9日～31日

調査面積 189.5㎡

調査担当 大高正之・長谷川哲也

平成26年度中に市立しきしま幼稚園の園庭で、部分的に試掘調査を行い遺構・遺物を確認している。当該年度は園舎解体後、敷地全体の試掘調査を行った。平成26年度の試掘調査で検出した溝の続きを検出し、古墳時代後期に属する土師器が多量に出土したほか、溝の検出面から須志器ハソウが出土した。溝の規模や形状から古墳の周溝である可能性も考えられる。

なお、平成29年度に本調査を行い、平成30年度に整理分析調査、令和元年度に発掘調査報告書（『松ノ尾遺跡16』）を刊行した。詳細については同書を参照。



松ノ尾遺跡 試掘調査位置図



調査風景（南西から）



調査風景（南東から）



溝検出面 遺物出土状況（東から）
矢印はハソウ



溝 調査状況（東から）

3 平成29年度 埋蔵文化財保護行政概要

当該年度の試掘件数は第2-4表に示したとおりである。

第2-4表 平成29年度 試掘調査一覧

| No | 遺跡名 | 調査地点 | 対象面積 (㎡) | 発掘面積 (㎡) | 調査原因 | 種別 | 主な遺構 | 主な遺物 | 指示番号 | 備考 |
|----|-------|-------------------------|-------------|-------------|---------------|-----------|-------------|------|----------------------------|---------------------------|
| 1 | 松ノ尾遺跡 | 甲斐市中下条1839-1外 | 3487.45 | 141 | 幼稚園建設 | 集落跡 墓域 | 竪穴建物跡 土坑 | 土師器 | 平成29年3月9日付・ 教学文第3060号 | 平成29年度 本調査済(松 ノ尾16) |
| 2 | 末法遺跡 | 甲斐市大下条187-1 | 1165 | 34 | 宅地造成 | 集落跡 | なし | なし | 平成29年5月9日付・ 教学文第404号 | |
| 3 | 御岳田遺跡 | 甲斐市大下条958 | 351 | 7.5 | 医療法人 施設建設 | 集落跡 墓域 | なし | なし | 平成29年5月29日付・ 教学文第698号 | |
| 4 | 泉尻入遺跡 | 甲斐市大下条461-1 | 498 | 11.2 | 宅地造成 | 散布地 | なし | なし | 平成29年4月20日付・ 教学文第188号 | |
| 5 | 霞堤 | 甲斐市養原1685外 | 2306 | 30 | 宅地造成 | 堤防跡 | なし | なし | 平成29年8月7日付・ 教学文第1383号 | |
| 6 | 大原北遺跡 | 甲斐市電王新町2222-1 外 | 1970 | 20 | 道路拡幅 | 散布地 | なし | なし | 平成29年11月13日付・ 教学文第2197号 | |
| 7 | 駒沢遺跡 | 甲斐市宇津谷7888-1 | 1247 | 32 | 園場整備 (県事業) | 散布地 | なし | なし | 平成29年9月12日付・ 教学文第1632号 | |
| 8 | 駒沢遺跡 | 甲斐市宇津谷7901-1、 7902-1 | 417 | 9 | 園場整備 (県事業) | 散布地 | なし | なし | 平成29年9月12日付・ 教学文第1632号 | |
| 9 | 北浦遺跡 | 甲斐市龍地5353-1 | 208.66 | 2.16 | 個人住宅 浄化槽 | 散布地 | なし | なし | 平成29年11月15日付・ 教学文第2225号 | |
| 10 | 北浦遺跡 | 甲斐市龍地5353-2外 | 205.53 | 2.16 | 個人住宅 浄化槽 | 散布地 | なし | なし | 平成29年11月15日付・ 教学文第2226号 | |
| 11 | 北浦遺跡 | 甲斐市龍地5353-7 | 201.84 | 35 | 個人住宅 浄化槽 | 散布地 | なし | なし | 平成29年11月8日付・ 教学文第2166号 | |
| 12 | 包蔵地外 | 甲斐市亀沢6949-2外 | 34615 | 15 | 太陽光発 電所建設 | - | なし | なし | - | 燧石の露 頭を検出 |
| 13 | 松ノ尾遺跡 | 甲斐市中下条1861-5外 | 216.79 | 9 | 個人住宅 建設 | 集落跡 墓域 | 竪穴建物跡 | 土師器 | - | 試掘依頼 |
| 14 | 大原北遺跡 | 甲斐市電王新町2222-1 外 | 1970 | 20 | 個人から の依頼 | 散布地 | なし | なし | - | №.6と同時 期に実施 |

第2-5表 平成29年度 開発の届出件数

| | 93条 (民間開発) | 94条 (公共工事) | 試掘依頼 | 計 |
|------|---------------|---------------|------|----|
| 試掘調査 | 7 | 3 | 6 | 16 |
| 工事立会 | 59 | 4 | 0 | 63 |
| 慎重工事 | 14 | 4 | 0 | 18 |
| 計 | 80 | 11 | 6 | 97 |

第2-6表 平成29年度 包蔵地間合せ件数

| | 包蔵地内 | 包蔵地外 | 計 |
|-------|------|------|------|
| 間合せ件数 | 185 | 971 | 1156 |

4 平成29年度 試掘調査概要

遺構・遺物を確認した第2-1表中のNo.1、No.12、No.13の3件について以下に概要をまとめた。なお、No.12については、遺構・遺物の検出および出土はなかったものの、饅頭石の露頭を検出したため、概要を記した。

№1 松ノ尾遺跡

所在地 中下条1839-1、1840-4
調査原因 保育園建設工事
調査期間 平成29年5月9日～26日
調査面積 141㎡
調査担当 長谷川哲也

平成28年度末の試掘調査で、古墳の周溝である可能性がある溝が検出されたことから、石室の有無を調べたが、石室の痕跡は検出されなかった。また、開発対象である隣接地（旧資材置場）の試掘調査も行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

なお、平成29年度に本調査を行い、平成30年度に整理分析調査、令和元年度に発掘調査報告書（「松ノ尾遺跡16」）を刊行した。詳細については同書を参照。



松ノ尾遺跡 試掘調査位置図



旧資材置場 TR-1 調査風景（東から）



旧資材置場 TR-1 土層堆積状況（西から）



旧資材置場 TR-2 完掘状況（東から）



旧幼稚園敷地 石室遺存状況調査（南から）

No.12 包蔵地外（亀沢地内）

所在地 亀沢字大明神地内

調査原因 太陽光発電所建設

調査期間 平成29年9月25日～26日

調査面積 15㎡

調査担当 長谷川哲也

山林地のため、分布調査は行われておらず、遺跡の有無が不明であることから、山林伐採後に試掘調査を行った。浸透池設置予定地など、掘削深度が深い部分や切土を施す部分を中心にトレンチを設定し、試掘調査を行った。表土（約15cm）直下で黄褐色ローム質の地山を確認した。遺構・遺物は認められなかったが、工事車両通行のために切土をした部分で饅頭石を確認した。場所は饅頭峠から東へ約100mの切土部分で、断面観察したところ、

平均直径は2cm程度で、まれに3cm大のものも確認できた。最大のは直径10cm大であった。

なお、「饅頭峠のマンジュウ石」は重崎市指定天然記念物、「ホッチ峠の饅頭石」は甲斐市指定天然記念物および山梨県自然環境保全条例による自然記念物となっている。

また、周辺は開拓集落で、太陽光発電所建設予定地内には開拓者の墓が存在し、開発に伴い移転したという。試掘調査では緑色プラスチック製の花立を確認した。



亀沢地内 試掘調査位置図



饅頭石確認箇所（東から・左手が饅頭峠）



饅頭石確認箇所（南から）



饅頭石露頭 接写



回収した饅頭石

No.13 松ノ尾遺跡

所在地 中下条1861-5、1861-9
調査原因 個人住宅建設工事
調査期間 平成29年9月28日～10月5日
調査面積 10㎡
調査担当 大高正之

申請者からの試掘依頼によって調査を行った。基本土層は①盛土(13cm)、②盛土(山砂・30cm)、③旧水田耕作土(20cm)、④旧水田床土(25cm)、⑤黒褐色土(遺物包含層・20cm)で、⑤以下が遺構確認面であった。

遺構は竪穴建物跡1軒、土坑1基を確認した。出土遺物は土師器片が中心であるが、須恵器片もわずかに出土した。



松ノ尾遺跡 試掘調査位置図



掘前前状況(北東から)



遺構検出状況(西から)



北壁 土層堆積状況



南壁 土層堆積状況

年 報 抄 録

| | |
|--------|------------------------|
| ふりがな | かいしぶんかいさんねんぼう |
| 書名 | 甲斐市文化遺産年報3 |
| 副書名 | 平成28年度・平成29年度 |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | 甲斐市文化財調査報告書 |
| シリーズ番号 | 34 |
| 編著者名 | 長谷川 哲也 |
| 編集機関 | 甲斐市教育委員会 生涯学習文化課 文化財係 |
| 所在地 | 〒400-0192 山梨県甲斐市篠原2610 |
| 発行年月日 | 令和3年〔西暦2021年〕3月31日 |

平成28年度 埋蔵文化財調査

| 所収遺跡名など | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---------|-------|-------|-------|------|--|
| 御岳田遺跡 | 集落/墓域 | 古墳・平安 | 竪穴建物跡 | 土師器 | 平成28年度に御岳田遺跡第8次本調査を実施。詳細は甲斐市文化財調査報告書第28集「御岳田遺跡8」を参照。 |
| 松ノ尾遺跡 | 集落/墓域 | 古墳・平安 | 溝 | 土師器 | 平成29年度に松ノ尾遺跡第16次本調査を実施。詳細は甲斐市文化財調査報告書第30集「松ノ尾遺跡16」を参照。 |

平成29年度 埋蔵文化財調査

| 所収遺跡名など | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|----------|--------|-------|-------------|------|--|
| 松ノ尾遺跡 | 集落/墓域 | 古墳・平安 | 竪穴建物跡 | 土師器 | 平成29年度に松ノ尾遺跡第16次本調査を実施。詳細は甲斐市文化財調査報告書第30集「松ノ尾遺跡16」を参照。 |
| 太陽光発電所試掘 | (包蔵地外) | — | — | — | 工事のための切土部分で轆頭石の露頭を発見。 |
| 松ノ尾遺跡 | 集落/墓域 | 古墳・平安 | 竪穴建物跡 土坑 | 土師器 | 試掘依頼による調査。 |

甲斐市文化財調査報告書 第34集

甲斐市文化遺産年報3

平成28年度・平成29年度

発 行 日 令和3年(2021)3月31日
発 行 甲斐市教育委員会
山梨県甲斐市篠原2610
TEL (055) 278-1697
印 刷 株式会社 少 國 民 社
山梨県甲府市住吉一丁目13番1号
